

科目ナンバリング		U-LAS05 10007 LJ23							
授業科目名 <英訳>	人文地理学 Human Geography			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 山村 亜希				
群	人文・社会科学科目群		分野(分類)	地域・文化(基礎)		使用言語	日本語		
旧群	A群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	講義(対面授業科目)		
開講年度・ 開講期	2026・前期		曜時限	金4		配当学年	全回生	対象学生	全学向
<b>【授業の概要・目的】</b>									
<p>人文地理学は、現代・過去における諸事象が、なぜその立地で、その形態で成立/展開するのかを、空間という土台の上で考える学問である。それは「地(場所・空間・景観・地域)」の「理(ことわり・しくみ・成り立ち)」を解くことでもある。本授業の目的は、このような人文地理学の「地の「理」を解く視点と方法を理解することにある。本授業では、様々な地域・時代の多様な現象を、人文地理学の視点と方法から解く考察プロセスを解説する。そのとき、地形図の読図やグループでのディスカッションも併せて行う。</p> <p>高校で地理を履修していなくても良いが、地理・地図・歴史への興味関心は持って欲しい。地形図への着色作業や地名探しなどの手作業を面倒がらず、積極的に地図に向き合う態度を期待する。</p>									
<b>【到達目標】</b>									
人文地理学の基本的な視点・方法を理解し、多様な人文現象を地理学的にとらえる発想力を読図を通して養う。									
<b>【授業計画と内容】</b>									
授業の進行状況に応じて、順番やテーマを変更することもある。									
第1回 授業の概要 第2回 大都市郊外の空間と社会－愛知県長久手市－ 第3回 地図から読む歴史－京都－ 第4回 京都郊外の地形図を読む 京都府向日市 - 第5回 京大生の出身地の地理的分布を考える 第6回 読図からフィールドへ－石川県小松市－ 第7・8回 日本史を地形図と読む－桶狭間の合戦－ 第9回 期末レポートとその参考例の読図 第10回 城下町から現代都市へ 石川県金沢市 - 第11回 鉄道と住宅地開発－京都府向日市－ 第12回 温泉観光都市の地形図読図 第13回 散村の形成と維持－富山県砺波平野－ 第14回 総括 第15回 フィードバック(フィードバック期間中に行う)									
<b>【履修要件】</b>									
特になし									
----- 人文地理学(2)へ続く -----									

## 人文地理学(2)

### [成績評価の方法・観点]

期末レポート60%、平常点（授業への参加状況、小テスト）40%

### [教科書]

毎回、地図を中心とした大判のプリント（A3サイズ・2枚程度）を配布する。複数回で連続で使用し、前回の読図・着色作業を前提として講義を続ける場合も多いので、前回分も持参すること（ファイリングして持参がベター）。

### [参考書等]

（参考書）  
授業中に紹介する

### [授業外学修（予習・復習）等]

授業後に授業を振り返りながら、小テストに回答することが復習となる。また、授業中に終了しなかった読図・着色作業を行いつつ、授業内容を振り返る。

### [その他（オフィスアワー等）]

授業中に地図や図表に着色するなどの作業を行うことがあるので、色鉛筆・マーカー（赤・青・黄色・緑の4色）や色ペン複数色を持参する。

### [主要授業科目（学部・学科名）]

総合人間学部